

平成 21 年度 第 1 回医薬品・医療機器安全使用対策検討会結果報告

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

1. 調査対象の範囲

財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集事業第 14 回、第 15 回及び第 16 回の報告書中の医薬品に関するヒヤリ・ハット事例記述情報及び医療事故事例

【第 14 回報告書】

- 1) 医療事故関係については、平成 20 年 4 月 1 日～6 月 30 日の間に報告された事例
- 2) ヒヤリ・ハット関係については、平成 20 年 2 月 19 日～5 月 12 日の間に報告された事例
(事例発生月:平成 20 年 1 月～平成 20 年 3 月)

【第 15 回報告書】

- 1) 医療事故関係については、平成 20 年 7 月 1 日～9 月 30 日の間に報告された事例
- 2) ヒヤリ・ハット関係については、平成 20 年 5 月 13 日～8 月 11 日の間に報告された事例
(事例発生月:平成 20 年 4 月～平成 20 年 6 月)

【第 16 回報告書】

- 1) 医療事故関係については、平成 20 年 10 月 1 日～12 月 31 日の間に報告された事例
- 2) ヒヤリ・ハット関係については、平成 20 年 8 月 12 日～11 月 10 日の間に報告された事例
(事例発生月:平成 20 年 7 月～平成 20 年 9 月)

2. 検討方法

医薬品に起因するヒヤリ・ハット等の事例について、医薬品の使用方法及び名称・包装等の観点から安全管理対策に関する専門的な検討を行うため、各医療関係職能団体代表、学識経験者等の専門家及び製造販売業者の代表から構成される標記検討会を開催し、医薬品の物的要因に対する安全管理対策について検討した。

3. 調査結果

医薬品製造販売業者等による安全使用対策の必要性の有無により、報告書中の記述情報 361 事例を調査したところ、下記表の結果となった。